

12月  
師走



# 歩 歡

第 228 号  
2023 年 12 月 1 日 発行

NPO 法人  
福井県ウォーキング協会  
〒910-0004  
福井市宝永 3 丁目 3 番 2 7 号  
吉村様方  
Tel.090-5173-0689 FAX0770-45-0676  
Mail fukui-walking@cube.ocn.ne.jp  
HP http://fukui-walking.sakura.ne.jp

## (12月例会の案内) 冬場のウォーク①

### 敦賀港イルミネーション

開催日 2023 年 12 月 16 日 (土)  
受付時間: 17 時 40 分 スタート時間: 17 時 50 分  
集合場所: JR 敦賀駅 東側モニュメント付近  
解散時間: 20 時頃 解散場所: 集合場所に同じ  
(ゴール次第順次解散)



交通: JR 福井駅 16 時 47 分発、JR 小浜駅 16 時 27 分発の電車が便利です  
距離: 6 Km (短縮コースは有りません)  
コース: JR 敦賀駅⇒ミライエ 2023 会場⇒JR 敦賀駅  
(天候により金ヶ崎宮からの観覧も考慮しています)

**注 意: 本例会は新型コロナウイルスの感染防止に留意して実施します。**

見どころ: 由来①敦賀の未来を考えて ②2 年目 3 年目への繋がり、飛躍を考えて  
③未来への光を放つように 2014 年 22 万球から過去最大の 65 万球の LED 電球を  
使用して 2023 年事業を実施されます。

参加申込: 当日申込み

参加費: 会員 100 円、他協会 300 円、一般 500 円 (資料、保険料含)

## (1月例会の案内) 冬場のウォーク②

### 一県民一スポーツ推進事業

### 初詣ウォーク (三國神社・成田山)

開催日 2024 年 1 月 8 日 (月・祝)  
受付時間: 8 時 50 分 スタート時間: 9 時 15 分  
集合場所: えちぜん鉄道三国駅  
解散時間: 12 時頃 解散場所: えちぜん鉄道三国駅  
(ゴール次第順次解散)



交通: えちぜん鉄道福井駅 7 時 49 分発、JR 敦賀駅 6 時 30 分発の電車が便利です  
距離: 6 Km (短縮コースは有りません)

コース: えち鉄三国駅⇒氷川神社⇒三國南小学校⇒惠雲寺⇒桜谷公園⇒三國神社⇒日和山金鳳寺  
⇒瀧谷寺⇒三國成田山⇒みくに龍翔館⇒えち鉄三国駅

**注 意: 本例会は新型コロナウイルスの感染防止に留意して実施します。**

見どころ: 初詣ウォークと銘うって、北前船の寄港地として古くから栄えてきた、三國の街中の  
風情を愛でながら、あちこち立ち寄りゆっくりと巡りたい。初詣には欠かせない三國  
神社や三國成田山、惠雲寺等々初めて訪れるところも多く乞うご期待!

参加申込: 当日申込み

参加費: 無 料



## 10月のウォーキング記録

行事名 : 余呉湖一周ウォーク

開催日 : 2023年10月22日(日) 天候: 晴れ 参加者: 28名

コース : 余呉駅前⇒余呉湖観光館⇒尾野呂浜⇒賤ヶ岳登山口⇒菊石姫目玉石⇒天女の衣掛け柳⇒余呉駅前

余呉駅前、先日までの大雨とはうって変わり快晴の様子。10時30分28名の参加者。早朝は低温かと案じていたものの、段々気温も上がり快晴となり秋のイベントでは最高の天気となる。10時40分本日の地元ガイド「奥びわ湖ボランティアガイド協会」のM氏を紹介する。本日のコースを駅前案内板にて説明を受ける。余呉湖を右回りにてウォーキングスタートする。他所からの団体客や、個人ウォーカー、魚釣り客、テント持参で湖畔に憩う家族連れなど、思い思いに余呉湖を楽しんでいる人の多さにびっくりする。ガイドのM氏はベテランらしく、要所要所で詳細な

ガイドにより我々を楽しませてくれている。無風で気温ともに秋の行楽に最高の日和となり、参加された方々にも有意義な半日を過ごしていただけたのではないでしょう。春先の桜咲く頃にも、個人的に再度来られるのも良いかと思いつつ無事終える事が出来ました。13時15分頃到着散会。



## 11月のウォーキング記録

行事名 : 文殊山祭りウォーク

開催日 : 2023年11月3日(金・祝) 天候: 晴れ 参加者: 29名

コース : JR大土呂駅⇒二上登山口(人)⇒大村コース分岐⇒小文殊(人)⇒展望台⇒大文殊(頂上)⇒頂上広場(休憩)⇒小文殊(人)⇒大村コース分岐⇒二上登山口(人)⇒JR大土呂駅

11月とは思えない暖かい好天に恵まれた文殊山祭りウォークには、会員他29名の参加者を得た。コース説明及び準備体操の後大土呂駅をスタートする。途中の田んぼ道には路上駐車車の長い列が続いていた。登山口の二上駐車場では祭りの準備が整っていて、既に登山大会が開始されていた。登山道に入ると紅葉には少し早い、イチョウやモミジは色づき始めていた。木漏れ日に目を細めながら青空に浮かぶ頂上を目指す。登ること30分、給水のため小休止とするが、すでに列は長く伸びてしまった。アンカーの姿を確認して再スタート、小文殊で再度小休止をし、息を弾ませ頂上に達する。一般の登山者で混雑していたが、蛇行する新幹線の線路をバックに、集合写真を撮り下山する。下山すると祭りは佳境に入っていて、知恵鍋に舌鼓を打ち、スタンプラリーの記念品などを頂く。広場でのイベントやテントの中をしばし見物し、夏のような日差しの中、祭りの喧騒を後にして大土呂駅に戻る。

